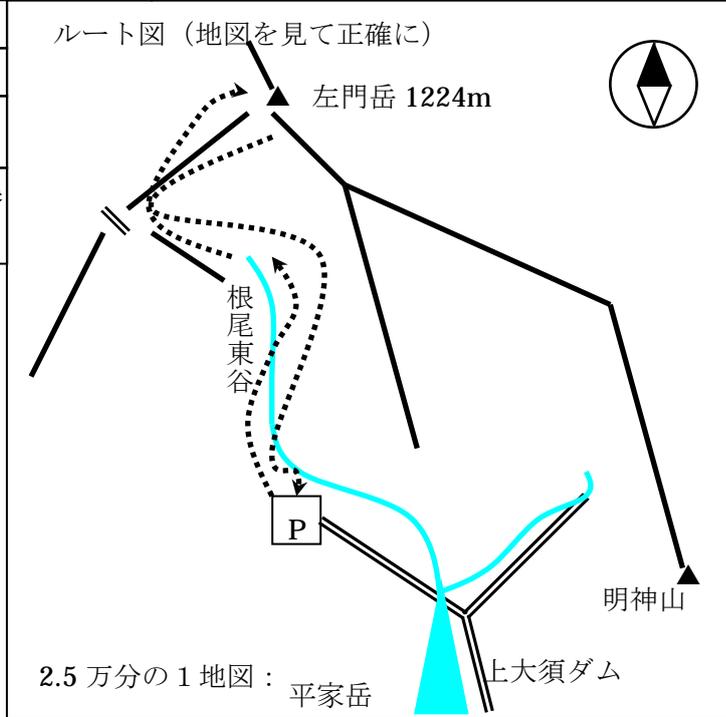


11月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL:中山正夫
		報告日	12/8		
山 域	奥美濃	山行日	10年 11月 27日 (土) ~		
山 名	左門岳		10年 11月 28日 (日)		

山行目的	バイクで奥美濃山行	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



11/27(土) 晴れ
03:20 起床
03:50 自宅発
06:45 根尾樽見
07:20 上大須ダム
07:30 根尾東谷駐車場着
08:10 駐車場発
10:00 左門岳頂上着
10:20 頂上発
11:40 駐車場着
12:30~:50 雷倉登山口
15:10 薄墨桜着
16:30 テント設営
20:30 就寝

11/28(日)晴れ
6:30 起床
7:50 薄墨桜発
8:30~:50 富有柿の里
11:30 自宅着

左門岳頂上

〈山行報告〉まだ夜明けには間がある4時前に、自宅をバイクで大きいザックを担ぎ出発する。東豊田 IC から一宮 IC、22号から21号穂積から本巣市根尾に入っていく。何度か道に迷いやっと上大須ダム奥の駐車スペース 7:30 着。厚着した服を薄着に着替え根尾東谷林道を歩き出す。紅葉はすっかり落ち切って、枯葉のじゅうたん、熊よけの鈴も沢音に消され、あまり効果が期待できない。右岸、中州、左岸と何度か飛び石の渡渉を繰り返し、テープに導かれ谷を詰める。やがて、右岸の尾根に取り付いてジグザグに急登するが稜線に出ず、トラバースが長い、補修用プラスチックのステップが崩れてあまりいい道ではなく、稜線に出てからは藪こぎぎみとなる。露で服がびしょびしょで風が吹くと寒い、結局休憩なしで左門岳 10:00 着。展望は、樹間から屏風山が立派に見える程度。来た道を戻り駐車場 11:40 着。登山者一人もなし。もうひとつ狙って雷倉の登山口に向かうが、時雨れてきたので、八谷の登山口を村人に訊ねただけで、登山中止とする。薄墨桜は整備工事中で、奥の駐車場にテントを張り 20:30 就寝。次の日に根尾天神堂の樽井さんの墓参りをして、帰り、自宅 11:30 着。

(感想) 左門岳と言えば、板取川上流部川浦谷の銚子洞、銚子ヶ滝の源流となる山であり、沢登りの憧れであった。過去に平家岳、滝波山には登ったことがあるが、銚子洞は私にはレベルが高すぎ、左門岳登頂など諦めていた。今回根尾側の登山道からとはいえ、登れたのはうれしかった。

〈リーダー所見〉今年根尾でも熊の出没がたくさん確認されており、正直左門岳にも熊のつめ跡、糞などが見られた。鈴をならして、へっぴり腰で急いで登り戻ってきた。雷倉登山口では猿が往来を平気で闊歩しており、野生の王国のようだったので、熊をおそれて、登山を断念した。次の機会にまた来ようと思う。

フリースペース

濡れ笹に服しめらせても峰遠し

熊出そうへっぴり腰で左門岳

雪つりの薄墨桜マリオネット

沖仙

確認 (リーダー)
中
10/12/05
山
作成 (報告者)
中
10/12/06
山